

令和5年4月3日（月）朝礼

一羊館施設長 桑原英真

本日は2点についてのお話です。

- 1, マスク着用は個人の判断に任されましたが。
- 2, 「他人のふり見てわがふり直せ」です。

1, 前月にも申し上げましたが、これは行政上の対応が3月13日から変わったというだけで、これまでの私達の対応が変わるわけではありません。もともと戸外で周りに人がいなければマスクは不要でしたので、これまで通り、感染対策の基本を忘れなければ形式的にマスク着用に拘る必要はありません。ただ、私達の仕事は免疫力の弱い高齢者の施設ですのでその分の注意は必要だと云うことです。

今日は別の問題のお話を致します。

2, 数日前のニュースで東京日野市の保育園で児童虐待で職員が逮捕され、行政指導したにもかかわらず、直さないとのことで「行政による改善命令」が出されました。虐待はしていないと職員の署名まで集めて行政に言い訳をしたそうです。

改善命令は滅多にない事ですがこれは大変重い命令です。自分達は児童虐待はしていないと居直っていて内部から直そうとの気持ちが無かったという点が重要です。

これは児童虐待の問題ですが、私達の高齢者施設での虐待も同じです。

自分では自覚がないままに虐待類似の事を行ってしまっていないか、改めてわが身を振り返る良い機会です。「他人のふり見てわがふり直せ」です。「お互い」に指摘し合うことの大切さ」でもあります。

多職種協働とは、互いに手を出し合うだけでなく、互いに指摘し合うことも含まれています。

遠慮なく問題点を指摘し合うことでお互いを高める努力をして行きましょう。

そしてそのために、お互いに遠慮なく言い合える職場の雰囲気これから大事にしましょう。

